

高円宮杯全日本ユース（U-15）大阪府予選プレーオフ2013 大会要項

VOR.20130924

大会名	高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフ2013
主催	(一社)大阪府サッカー協会
主管	(一社)大阪府サッカー協会 第3種委員会
開催時期	2013年10月12日～2013年10月27日 ・高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフ日程 10月12日(土)・13日(日)・14日(月)・19日(土)・26日(土)・27日(日) →9月24日に左記の日程に変更 (暴雨風警報・落雷・避難勧告が発令された場合は平日等も含め臨機応変に対応する)
会場	大阪府内各会場
競技規則	最新の(公財)日本サッカー協会制定の「競技規則」による
参加資格	・1998年4月2日以降の出生者 ・参加チームのメンバーは11名以上の選手で構成され、その内中学校年齢層の選手数は8名以上。 ・(公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録したチームの選手で、2重活動選手は認められない。 ・高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフについてはアドバンスリーグ最終節時のWeb登録のメンバーを試合出場可能メンバーとし、アドバンスリーグ最終節以後の移籍選手の参加は認めない。 ・高円宮杯全日本ユース(U-15)関西予選には「8月31日」までの登録選手とする。 ・1stチームが高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフに進出した場合、2ndチーム所属の選手も出場可能である。
関西大会出場権	・アドバンスリーグ大阪2013 1部1位を大阪1位、1部2位を大阪2位として高円宮杯全日本ユース(U15)関西予選出場権を与える ・大阪予選プレーオフ勝ち抜いた上位2チームに高円宮杯全日本ユース(U15)関西予選出場権を与える アドバンスリーグ大阪2013の通し順位の上位チームを大阪3位とし、下位チームを大阪4位とする
プレーオフ出場権	・アドバンスリーグ大阪2013の結果を反映する。 ・1部、1位～2位には高円宮杯全日本ユース(U15)関西予選出場権を与える ・以下のチームには高円宮杯全日本ユース(U-15)大阪府予選プレーオフ出場権が与えられる 上位2チームが高円宮杯全日本ユース(U15)関西予選に出場する 1部、3位～7位 2部、上位8チーム 3部、上位8チーム 4部、上位8チーム (1回戦制 通し順位上位2チーム、2回戦制通し順位6チーム) ・2ndチームには出場権を与えない。その際は通し順位を反映し、繰り上げる。 ・1部、2部、3部、4部2回戦制の出場権獲得チームが棄権した場合は繰り上げはしない。 ・4部1回戦制において出場権を獲得したチームが棄権した場合は、通し順位4位まで繰り上げがある。しかし、それ以降はなし
最少スタッフ数	2名
ベンチ入りスタッフ	・ベンチ入りスタッフについては複数のチームを兼ねることはできない。 ・アドバンスリーグの最終節以降登録チームを変更することはできない。 ・チームベンチにはメンバー表に記入された指導者・登録選手のみとし、保護者等のベンチ入りは一切認めない。
参加費	¥3,000- 参加費振込期限：2013年10月8日(火) →9月24日に左記の期限に変更
参加費振込先	●三菱東京UFJ銀行：泉佐野支店(710) ●普通 ●口座番号：0091780 ●口座名義：イッパンシャダンホウジン オオサカフサッカーキョウカイ
大会エントリー	エントリー期限：2013年10月8日(火) 19:00 →9月24日に左記の期限に変更 3種委員会ホームページ内、エントリーフォームから行う。
4種登録選手出場について	・認める。(クラブ申請完了必須) ・試合への同時出場選手数は最大5名とする。
女子選手の出場について	認める
運営会議	2013年10月9日(水) 18:30受付 19:00開始 Jグリーン堺 ミーティングルーム →9月24日に左記の日程に変更 アドバンスリーグ大阪2013の最終節までの申し込み事項を持参すること
競技方法	・試合時間は1回戦を60分(30-5-30)とする。2回戦以降は70分(35-10-35)とする。 ・主審は上記試合時間の他、ロスタイムも適宜採用しなければならない。 ・やむを得ない場合を除き、原則1日1試合とする。 ・ノックアウト方式 ・同点の場合は5人制のPK方式を採用し、勝者を決める。(6人目よりサドンデスを行う)
組み合わせ(通し順位)	・アドバンスリーグ大阪2013の結果を反映し、全ての組み合わせを3種委員会が最終決定する。 (上位デビジョン、勝ち点、得失点差、総得点の順で組み合わせを決定する) ・シードチームをトーナメントに組み込む。
シード	・アドバンスリーグ大阪2013の結果による、通し順位を反映させる。 1部5チーム(3～7位)を第1シード(固定) 順位でトーナメントに固定 2部8チーム(1～8位)を第2シード(固定) 1位から7位までオープン抽選 8位のみ固定 3部8チーム(1～8位)を第3シード(固定) 全てオープン抽選 4部8チーム(1～8位)を第4シード(固定) 全てオープン抽選

選手エントリー	・試合開始30分前までに本部へ【メンバー表】3部と【申し送り事項】を提出する。 ・試合毎の登録は20名までとし、先発に○、サブに△をつける。 ・選手エントリーについては毎試合ごとにメンバー表に選手を記入するので、毎試合、選手証を持参し提出する。 但し、選手証を再発行申請中の場合のみ【Web登録サイト「最新の選手登録・申請状況」画面コピー】での代替えを認める。
選手交代	・自由な交代を採用しない。(9名登録、5名交代) ・選手交代用紙は使用しない。
帯同審判	・主審は派遣審判員 ・副審は15歳以上(高校生年代可)の有資格者 ・審判員の不慮の事故により、試合続行が不可能な場合は、会場責任者と試合責任者と協議の上対応し、必ず試合は成立させる。
試合の成立	・試合開始時に11名未満の場合は棄権とする。 ・試合経過途中で選手数が7名未満になった場合、棄権とする。 ・中学生年代の選手が6名、同時出場していること。6名を下回った場合、棄権とする。（※エントリー選手数と混同しないように注意）
警告・退場等	・アドバンスリーグ大阪2013における、警告の累積による出場停止は今大会に持ち越さない。但し、退場については持ち越す。(10月9日の運営会議時に「申し送り事項」を持参し確認する) →9月24日変更 ・大会期間中に、警告を2度命じられた選手は、次の1試合は出場停止 ・試合中に退場を命じられた選手は、最低次の1試合は出場停止となる。その後の処置については全て規律・フェアプレー委員会にて決定する。 ・但し、2試合以上の出場停止になるような重要事項の場合は、別途規律・フェアプレー委員会にて出場停止試合数を決定する。
試合報告 審判報告	・試合責任者は試合終了後、試合責任者報告書を記入し、会場責任者に提出する。 ・退場等重要事項が発生した場合は、担当主審が審判報告書を会場責任者へ報告する。
試合責任の 役 割	・試合責任者は、第4審判の役割も担っている。 ・【試合記録報告書】の準備・記入・作成 ・【メンバー表】と【選手証】との照合を行う（試合出場選手の登録の確認） ・選手証の携帯および提出を基本とするが、選手証を再発行申請中の場合のみ【Web登録サイト最新の選手登録・申請状況」画面コピー】での代替えを認める。 ・メンバー表、審判証、選手交代時の確認 ・問題が発生した場合の報告義務 ・試合中であれば、主審への確に助言する。 ・試合後、主審から詳細を聞き【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。主審が居ない場合は試合責任者が【試合記録報告書】に内容を記入し、報告する。 ・重要事項が発生した場合、【試合記録報告書】に詳細を記入し会場責任者へ渡す。 ・【申し送り事項】に記入し、各チームスタッフへ返却する。 ・試合終了後、速やかに試合結果報告サイトより試合結果を報告する。
会場責任 の役割	・主審・副審が居ない場合の対応 ・会場設営・ピッチライン・本部・チームベンチ・ゴール・コーナーフラッグ・副審フラッグ・エアーポンプの用意 ・重要事項(退場など)が発生した場合、試合結果とともに速やかにメールにて報告する(当日の19:00までに)
試合結果 報告宛先	■結果報告サイト http://www.ofa-3shu.jp/gm/gm.cgi ●試合終了後、早急に報告。 ●この報告は試合責任者が行う
会場責任者 報告について	・会場責任者報告書については、重要事項(退場など)が発生した時のみ、メールで報告をする。 (当日の19:00までに) ■メールアドレス 2013-takamado-playoff@ofa-3shu.jp

ボ ー ル	・ 5号、検定球(公認球)を使用する。 ・ 両チームより持ち寄り主審が決定する。
ユニフォーム	・ ユニフォームは正・副(GKを含む)の2色を必ず用意しなければならない。 ・ GKユニフォームは、FPとは明確に違う色を用いるものとする。またその際には、FPの2色と重ならないようにしなければならない。 ・ ユニフォームはカラー・デザイン・マーク等も必ず一致させる。 ・ 尚、使用するユニフォームの最終決定は試合開始30分前を目安に主審が行う。 ・ アンダーシャツを着用する場合は、その主たる色チームで統一した色をもちいること。 ・ アンダーショーツを着用する場合、その主たる色はショーツの主たる色と同じにする。 ・ 競技者の安全のために、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。 ・ GKが戦術的に交代する場合は、GKのユニフォームを用意しなければならない。(背番号は変更できない) しかし、怪我等の緊急の場合はその限りではない。
日没や落雷時の再試合について	● 本来の規定とは異なるが、以下のように定める。 ・ 日没・落雷等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は主審が競技運営者と協議の上、判断する。 ・ 日没・落雷に関わらず、中断後は残り試合時間を“再試合”として実施する。再試合時には中断時のメンバー表・申し送り事項用紙を準備する。 ・ 再試合時には中断した場所がインプレーであれば中断場所からのドロップボールにて再開する。アウトオブプレー時に中断した場合はその中断場所からの再開とする。 ・ 再試合の審判は中断前と同一審判が望ましい。 ・ 再試合の出場選手については同一選手が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合も、再試合には同一選手が出場する事とする。
そ の 他	・ 負傷者については各チームにて対応する事とし、主催者及び主管者は一切の責任を負わない。 ・ 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入している事。 ・ チーム事情で大会に支障(当日棄権など)が生じた場合は、規律・フェアプレー委員会にて後の対応を決定する。その際は義務審判等の責任は果たすこと。 ・ やむを得ず棄権するチームは速やかに大阪府3種委員会まで連絡する。 ・ 保護者等の応援位置や駐車箇所については会場責任者の指示に必ず従う事。 ・ 尚、本レギュレーションは今年度でのみの採用とし、適宜改訂・改善を検討していくものとする。 ・ 会場費を後日、徴収いたします。

なお、上記要項は予告なく変更することがあります。最新情報はメールでの配信、Webサイトでの案内となります。